

# 第1回（仮称）新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会

## 議事要録

- |       |   |
|-------|---|
| ■ 日 時 | 平成 20 年 8 月 27 日（水）市役所西棟 811 会議室  |
| ■ 場 所 | 市役所西棟 811 会議室   |
| ■ 出 席 | 寄本勝美委員長、田村和寿副委員長、早川峻委員、越智征夫委員、石黒愛子委員、広江詮委員、橋弘之委員、佐々木保英委員、前川智之委員、村井寿夫委員、井上良一委員、事務局（環境生活部環境政策担当部長、クリーンセンター所長他）、傍聴者 4 名、記者 3 名 |

### 1. 開会

### 2. 委嘱状交付

（傍聴要領の承諾が行われ、傍聴者入場）

### 3. 市長挨拶

いろいろな人に愛されるきれいな街・武蔵野市であるのは、ごみ問題や環境に関心がある市民が多い事があると思われ、今後もその努力を続けていかなければいけない。クリーンセンターの建設・運営は地域の方々とのパートナーシップに基づいて行われ、そのパートナーシップを基に新しいクリーンセンターのあり方を考えて欲しい。また、ごみの減量化をもっと進め、そのごみの量に合ったコンパクトな施設作りもテーマとして欲しい。

### 4. 委員自己紹介

#### ●寄本勝美委員（学識経験者・早稲田大学教授）

現在のクリーンセンター建設の時も委員として関わらせていただき、とても感慨深く思い出します。武蔵野クリーンセンターの建設は世界的にトップクラスの市民参加の仕組みで行われました。今度の委員会に委員として参加できることを嬉しく思っています。どうぞ皆様と一緒に一つの成果を出していければと思います。

#### ●田村和寿委員（学識経験者・桐蔭横浜大学教授）

武蔵野の豊かさ・良さの裏づけは、着物で言うと「裏地に凝る」という所にあると思います。計画の中でも、インフラということで静脈施設・廃棄物系の事が非常に大切だと言ってきました。これは市民の生活に関わる事であり、システムや排ガス対策などの事にしても、慎重に議論をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

●早川峻委員（運営協議会・吉祥寺北町五丁目）

クリーンセンターは、炉もすぐに修理する事や排ガスの排出制限も厳しく設定して遵守しており、非常に素晴らしいなと思っています。

「コンパクト」＝「費用をかけない」という事ではなく、最新の技術で新しい焼却炉を建設していきたいなと思います。どこに建設しても、その建設した場所の住民には被害を最小限に抑えていくという形でやっていきたい。

●越智征夫委員（運営協議会・緑町三丁目）

クリーンセンターがある緑町3丁目がある所には旧地主が多く、新しいクリーンセンターを良いものにし、しっかりとその説明しなければいけない重責を感じています。クリーンセンターが出来て24年、思った以上に悪いものでは無かったなと思っています。ただ、今の時代に30年で建て替えというのは早いと感じていて、メンテナンスをしやすい施設にし、建て替えを100年くらいのスパンで考えられるよう考えて準備したいと思っています。

●石黒愛子委員（運営協議会・緑町二丁目三番）

今のクリーンセンターを建てる時にも関わり、一回目は私の青春時代をつぎ込んだのですが、今度は第二の人生をつぎ込むことになりそうです。

建設の時には行政側と丁々発止をいたしまして、煙突の縞模様ひとつでも行政側は縦縞に、私たち周辺住民は横縞にというように、かなり刺激的で対立的な会議でした。煙突が59メートル、稼動が59年、当時の市長が「まさか市民参加で建つとは思わなかった」と号泣したという事で「59会」という同窓会もあります。かつては丁々発止をやりあった中でも、今では同窓会をできるまでにパートナーシップを作るようになっている状況なので、こういう形での委員会がそのまま上手く円滑に進んでいけばいいなと思います。

●広江詮委員（クリーンむさしのを推進する会・会長）

現在、会には900名ぐらいおりますけど、その人たちのご協力で、ごみに対する熱が、むしろ一寸先走っているのではないかと思うぐらい進んでいまして、その人たちの意見を聞きながら、より良いものを造っていきたいと思うのですが、やはりごみもさることながら、これからは福祉も大事な問題です。この辺も踏まえて議論に参加していきたいと思っています。

●橘弘之委員（武蔵野市コミュニティ研究連絡会・会長）

16のコミセンがあり、各地域の住民を代表してということになるので、今回どういう意見を述べるのか私にはまだ分かりませんが、16 コミセン色々考え方があると思います。そういう方々にこれからの内容を報告しながら、有意義なヒアリングができればという考えで参加をいたしました。

●佐々木保英委員（公募市民・八幡町三丁目）

ごみ処理プラントの建設関係の仕事をやっておりましたので、自分なりに認識を持っています。今回は市民という立場で、会社で培った知識を活かしつつ、武蔵野の西部地区の代表市民としてより良いものを造っていく、そういった意見をどんどん述べていきたいと思っています。

●前川智之委員（公募市民・吉祥寺北町三丁目）

もともとは、ここの庁舎を設計しました会社に18年間勤めていまして、現在独立して建設コンサルタント業務をやっています。現職中は設計コンサルタントからまちづくりとか再開発等たくさんありまして、知識と経験を持っているつもりですが、今回は市民代表ということで、あまり専門家にならず、実際に住んでいる一市民代表として、急がず遅れず意見していきたいと思います。

●村井寿夫委員（公募市民・吉祥寺北町五丁目）

クリーンセンターがこの地域のまちづくりに大きな役割があると感じています。共通の敵が居ると、団結が強くなるわけですね。クリーンセンターがどこにあるかではなく、ごみをどうするかというのは、人間が生きていくための共通の敵だと思っています。そのためには、新しい知恵を結集しなければいけないかなど。丹念に検証して、再資源とか色々な話も勉強できればと思います。

●井上良一委員（武蔵野市・技監）

東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合（最終処分場）に、昭和55年に武蔵野市から第1期生として派遣され、日の出町の谷戸沢処分場の建設と地元対策に関わらせていただきました。その時にいろいろな形の中で、日の出町の地元のみなさんと関わらせていただきましたけれども、やはり一番大事なのはそこの地域にあった寄与できる施設、そういうものが大事だと思っています。

●金子和雄委員

都合により欠席しております。

## 5. 事務局紹介

（市長退室）

## 6. 委員長・副委員長互選

（委員長は寄本勝美委員に、副委員長は田村和寿委員に決定）

## 7. 議事

### (1) 委員会の運営について

事務局より資料の説明

- 委員会スケジュール案の説明
- 全体スケジュール案の説明
- 第四期長期計画調整計画の説明

建て替えの計画がこの調整計画で明確に位置づけられました。

- 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の説明

焼却灰のエコセメント化について、現在多摩地域で参加していますが、このエコセメント方式を基本に処理方式を検討していくとしてあります。

P52 に今後の施設の検討について、記載してあります。

敷地の継続使用について、温暖化対策について、資源化機能について、普及啓発について、施設に対しての主な課題になっています。

- 施設基本構想についての説明

基本構想は、建て替えの検討段階に入ったことと、検討が必要な項目を乗せています。

委員長：傍聴の方には、資料を配付していますか。

事務局：配っています。

委員長：傍聴のかたには、委員会を閉めたあと、発言する機会を準備したいと考えています。それでは、次に建設の経緯について説明してください。

### (2) 現クリーンセンターの建設経緯

事務局より説明

### (3) 意見交換

委員長：これよりフリーディスカッションを行います。ふじみ焼却場は、現在三鷹と調布が一緒になって処理を始めています。武蔵野は単独での処理となっています。

副委員長：なぜ立て替えが必要なのかと基本構想であるが、今ある物をどうして使えないのかが、建て替えが必要なことなのだが、これから財政との調整が必要となりますが、効率的な建て替えが必要で最大の前提ではないか。

委員：横に建て替え用地が準備してあると見受けられたが、立て替えの前提になる条件となると思われるが、これに入ると検討した条件があったのか。施設基本構想で検討しますとありますが、まだ検討項目が残っている状況となっていますが、そのような施設を入れるとなると無理だとなるが、その前提条件として説明をしてほしい。

事務局 : スケジュールの件ですが、P 3は一般的なスケジュールで最短で検討したものです。建て替えの必要と考える時期は、3基の炉を持っており、2基ずつの運転で手をかけてメンテナンスしているが、それでも30年が限度であると考えており、機能診断でも平成30年まではいけると診断されています。最短ですと平成27年度に稼働できることとなりますが、3年程度余裕を持って計画を進めているものです。基本構想は事業をスタートすることが必要だということで策定したもので、きっちりしたスケジュールではありません。段階的に進めて行くときに整備のエンドが決まることとなりますが、その後の安定稼働も課題と考えています。

事務局 : 現状の17,000m<sup>2</sup>程度で検討、施設自体は5,000m<sup>2</sup>程度で建設可能と考えていますが、廻りに緑地帯等必要となりますので、その分のスペースも確保することで変更になるとおもいます。ご指摘の通り、色々な施設で計画すると作りきれなくなると思います。

委員 : 時間があるときに施設をよく見ているが、前倒しで良好な状況を保っている維持管理をしてきている。1番には薬剤等を使っているので影響が多いと考えます。洗煙塔の痛みが激しいが、二枚橋の施設のように酷い状況にならないようにしてほしい。多摩地域で一斉に建て替えの状況となるが、国庫補助金が心配で早いうちに計画を建てたほうが良いと思います。また、一度は内部を見学していただければと思います。

事務局 : 交付金(昔は補助金でしたが)は、基本構想のp 3に循環型社会推進地域計画とありますが、現在これが国に対して申請していく最初のものとなります。施設の1/3が対象になりますが、どこまで対象となるかの検討も必要です。今回の整備用地の確定をしていかないと申請できず、都と情報交換はしていきたいと考えます。財政面についても、裏付けをして行かなければと考えますので、情報提供をしていきたいと考えます。また、現クリーンセンターについては是非、ご案内しますので個別でも対応しますので是非いらしてください。

委員 : 私は武蔵野に住んでいますが、ごみ問題が意識になかった。意識するようになったのは、厳しい分別が始まったからで、近隣以外の市民の方は、同じような感覚ではないかと思います。なぜ移設が必要なのか、納得させ、PRしていくことが大切と考えます。13万人が納得していくことが大切で、今更他に持って行けるものではない、そうするとそこに住んでいる方に理解いただき、地域だけでなく市民みんなが意識できるようにする必要がありますので、そこをしっかりとやっていく必要があります。

委員 : 建て替えありきで考えているもの改修費として、ワンステップ踏むべきと考えます。

委員 : 運営協議会の委員として、たずさわっているが、現在の施設は30年前の設計で、

部品の交換等、施設の中を見ると凄く感じます。それを全市民にわかるようにしてはどうかと思います。新しい施設はメンテナンスがし易い施設として欲しいと考えます。

委員 : ごみの分別の話が出たが、パートナーシップ20年に記載しているが、爆発事故が起きています。粗大ごみ処理施設でガスボンベが入って起きたことであり、知らせておかないと何もなかったと感じるので、隠さず市民参加でオープンにやっっていこうとしているので負の部分もお知らせし、自分たちができることをやっっていくべきと考えます。委員会も広報誌等を作成しできるだけ細かいことをお知らせしていくことが大切と考えます。迷惑料を支払うと話が出たこともあり、断ったが、もらったのではないか等、そういった出しにくいことも隠さずオープンにしていくことが20数年付き合ってきたので、知らせて欲しいと考えます。

副委員長 : 市民がどうやって建て替えるかを丁寧に行っていく必要があるのではないのでしょうか。もっと市民のレベルから見直していくことが必要と考えます。PFI等導入可能性調査とありますが、大変な検討が必要となりますが、武蔵野は財政的に余裕がありこういったことをあまり議論されてこなかった中で、やろうとうことであればどの程度まで考えているのか。

委員 : 生ごみの話等でいたが、桜堤で生ごみや下水へ流すディスポーザーがありますが、個別で進んでいて、小さな施設としていくことを考えるのではあるのかもしれないが筋が連動していない気がする。事業系は外に出していたり、コンビニが自己処理をしていたりとなっているが、それもPFIをやるのであれば、事業の採算性から受けていくことも考えられるのではないのでしょうか。何が良かった、何が悪かったかの筋が欲しいと考えます。

委員長 : まとめたいと思います。シアトルはユニークな取組をしているが、列車でコンテナ50個を積んで400km先にごみを捨てていますが、焼却工場を建てるか建てないかと考え、焼却場をいらないとしています。補助金はそもそも出ないのでまるまる100億円をかけない選択をしたと思います。日本は補助金がでるのでその方が得となっており、補助金を受け取るかどうかは選択だったと思います。しかし、最近のごみをリサイクルし、武蔵野市の独自の選択を問われますので、武蔵野市自身が決めていくこととなりますが、焼却施設を建てないで行くことということに関して必要となります。そういったことに対して説明することが必要となっています。

委員長 : ここで委員会を閉めますが傍聴の方で意見のある方はどうぞ

(※傍聴者の方の意見については別紙にて掲載)

委員長 : 町田市はごみを0にするとなっておりますが、調べてみてください。できるかどうか疑問な部分がありますが、内容を紹介していただければと思います。

委員長 : 次回の委員会日程を決めていきたいと思います。

事務局 : ご案内のフォーラムは、まちづくりの一環として準備をしてきました。日時は9月7日日曜日にこの場所で開催したいと思います。基調講演、最新施設紹介を行い、パネルディスカッションを行えればと思います。ここで委員長、副委員長をお願いしていますが、この委員会の中からパネリストとして市民委員を1名選んでいただければと思います。

委員 : 立候補して宜しいでしょうか。

委員長 : みなさんいかがですか。

各委員 : 了解。(※石黒委員がパネリストとして参加)

事務局 : 第2回の委員会は、9月17日の午後6時30分から。第3回の委員会は10月15日の午後6時30分から。詳細は事務局より連絡します。今日の資料で置いていかれるものは毎回ファイルに閉じておきますのでご活用ください。

——— 了 ——— (午後9時5分)